

令和5年度 学校評価評価票（自己評価・学校関係者評価）

令和5年度の重点目標

『学習指導と生徒指導をもとに進路指導の充実を図り、社会的実践力を備えた人材を育成する。』

- ・学習指導 基盤的学力の定着と自己実現に向かって主体的に取り組む学習態度の育成
- ・生徒指導 自己肯定感及び自己管理能力の育成と生命尊重の精神の涵養
- ・進路指導 地域を支える社会人としてのスキルの定着を図るキャリア教育の充実

【自己評価】本校教職員による評価については、各々A～Dで示した。
A：十分である B：おおむね十分である C：やや不十分である
D：不十分である

【学校関係者評価】

- A：十分
B：おおむね十分
C：やや不十分
D：不十分
E：判断できず

評価分野	評価項目	自 己 評 価			学校関係者評価	
		達成状況	取組の適切さ	改善の方策	自己評価の適切さ	改善に向けた取組の適切さ
経営方針	1 組織の活力を高め、マネジメントサイクルを活用して常に「改善」を指向する体制の確立に努める。	B	B	○人間的ふれあいや信頼関係を大切にする教育活動により、「自立と貢献」の心を育み、自己実現の支援と地域創生の人材育成を担う学校づくりを目指す ○多様性を理解し、異なる価値観を持つ他者と共生できる生徒の育成を図る教育活動を推進する ○教職員が、日々の生活や人生を豊かにし、自らの専門性や人間性を高め、教育の質を向上させながら勤務できるよう、様々な視点からの取組を推進する	B	B
	2 組織的・計画的・実践的な校内研修の充実を図り、教職員の教科指導力の向上に努める。	B	B			
	3 保護者、地域、関係機関との連携、協力を深め、魅力ある学校づくりに努める。	B	B			
	4 諸業務の改善による効率的・合理的な業務システムと、危機管理システムの構築に努める。	B	B			
学習指導	5 課題や補習等を活用した反復学習や家庭学習により、学習習慣の確立を図る。	B	B	○基礎基本の確実な定着を図る授業の推進(少人数指導、TT、習熟度別、ICT他)を実施する ○「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善の推進(観点別評価の確立、A.L型授業の確立)を行う ○教育内容の検証、及び教科横断的授業による多面的総合的な教育の推進を行う ○多様な進路実現や大学入試対策を踏まえた教育課程の編成を実現する ○「総合的な探究の時間(ＡＣＴ)」の目的を踏まえた充実したプログラムの改善を行う	B	B
	6 興味・関心が高まるわかりやすい授業のための指導法や教材を研究し、生徒の学習意欲を喚起する。	B	B			
	7 TTや習熟度別指導等を活用した個に応じた教科指導を工夫する。	B	B			
	8 全ての生徒に言語活動の充実等、基礎的・基本的な知識・技能を身に付けさせ、確かな学力を定着させる。	B	B			
生徒指導	9 身だしなみ、礼法、言葉遣い等、基本的な生活習慣を身に付けさせ、主体的に考え行動できる生徒の育成に努める。	B	B	○家庭との連携を深め、生徒の望ましい生活習慣の育成を学校と一体化して進める。 ○生徒の状況を多面的に把握し、支援を一層充実させることを目指して、「HyperQJ」を活用するなど、生徒の変化を捉える機会を増やす。 ○スクールカウンセラーの活用や教育相談の一層の充実を進め、生徒の心情の変化を的確に捉えた丁寧な指導を行う。 ○生徒の主体的な活動を育成するため、部活動や生徒会活動を充実させ、自己形成を図るとともに望ましい人間関係の形成を図る。	B	B
	10 校内研修を活用し、一貫性のある、全職員の共通理解による、組織的できめ細かな生活指導に努める。	B	B			
	11 共感的な生徒理解を基盤に、スクールカウンセラーとの連携による教育相談の充実を図る。	B	B			
	12 特別支援学校との連携や校内研修の充実による特別支援教育の体制を確立する。	B	B			
	13 部活動や生徒会行事を通し、生徒の自主的な行動や失敗を恐れられない積極性を促し自立心を育成する。	B	B			
進路指導	14 A.C.Tを中核とした体系的なキャリア教育を充実し、3年間の進路S.T.O.R.Yの展開に努める。	B	B	○各学年に応じたキャリア教育の一層の充実を図り、生徒の進路実現を図る支援を強化する。 ○各種検査や模試等を通し、生徒の能力・適性の客観的把握を進めるとともに進路情報の提供に努め、進路指導体制を強化する。 ○進路シラバスの充実を図り、「総合的な探究の時間(ＡＣＴ)」を中心としたキャリア教育の充実を図る。 ○外部講師の活用や教育局の進路相談員等の関係機関との連携、新たな大学入試制度の情報を収集し、生徒の進路実現を支援する取組を強化する。	B	B
	15 情報の収集や提供を積極的に行い、生徒一人一人の能力・適性に応じた進路指導に努める。	B	B			
	16 保護者への分かりやすい進路情報の提供と進路相談の充実を図る。	B	B			
	17 地域・保護者・関係諸機関との有機的な連携を図り、地域の人材や教育力を活用して進路意識の醸成に努める。	B	B			
健康安全指導	18 講演会等を活用し、自他の生命を尊重して自主的に健康管理と安全確保ができる能力と態度を育てる。	B	B	○心身の健康・食事・睡眠などに関する各種情報を保健だより等で提供し、自主的な健康管理ができる生徒を育成する。 また、命を守る指導、命を大切にすることを育てる指導を教科科目の授業においても実践し、安全教育の更なる充実を図る。 ○J.R.C活動の充実と生徒のボランティア活動を奨励し、他者を思いやる心や感謝の心を育む教育活動を充実させる。 ○部活動への加入を促進し、活動の活性化を図るとともに、全生徒が楽しめる体育的行事の工夫・改善を図る。 ○防災教育や生徒の救急救命講習の充実を図り、非常時に実践できる能力の育成に努める。	B	B
	19 J.R.C活動等により、奉仕・美化・環境保全の取組を通して社会に貢献する態度を育てる。	B	B			
	20 体育的な行事・部活動の活性化を図り、体力と耐性の向上に努める。	B	B			
	21 防災訓練の充実により、防災に対する意識の高揚と安全確保ができる能力の育成に努める。	B	B			

評価分野	評価項目		自 己 評 価			学校関係者評価	
			達成状況	取組の適切さ	改善の方策	自己評価の適切さ	改善に向けた取組の適切さ
授業改善	22	シラバスを学習の指針、年間計画、評価についての説明などで活用している。	B		○基礎学力の向上を図るため、教科と学年が連携した組織的な体制づくりに努める。 ○生徒自身によるリフレクションや自己評価も活用しながら学びに向かう自主的な態度を育成する。 ○体験的、実践的な授業を通して、生徒のコミュニケーション能力、表現力を育成する。 ○大学入学共通テストや新学習指導要領実施に向け、職員の共通理解を図りながら体制の整備を進めていく。	B	B
	23	授業はシラバスの計画のとおり進んでいる。	B				
	24	「生徒による授業評価」の活用をし、授業改善に努めている。	B				
	25	言語活動の充実を図り、思考力・判断力・表現力及びその他の能力を育成する授業を行っている。	B				
組織運営	26	業務に関する指示や報告・連絡・相談が適切になされている。	B		○報告・連絡・相談を徹底し、職員の共通理解の下、組織的な指導の充実を進める。	B	B
	27	職員会議や各種委員会は効率的に運営されている。	B				
研 修	28	校内研修の実施方法・形態・時期等が適切で、教育活動に活かしている。	B		○内外の研修を積極的に参加するなど、教員の資質能力向上に向けた研修の充実を計画的に進める。	B	B
	29	資質能力向上のための自己啓発のための研修に取り組んでいる。	B				
いじめに対する取組	30	いじめ防止に向けて生徒への指導をしている。	B		○「桂陽・安全安心の日」の実施をとおし、日常的な生命尊重に対する指導を充実させ、いじめ根絶に向けた心の育成を計画的に進める。 ○「いじめアンケート」の実施や教育相談により、早期発見と早期解決に向け組織的な対応に努める。	B	B
	31	いじめ早期発見のために生徒の様子を日常的にチェックしている。	B				
	32	いじめの問題に対して、学校全体で対応する体制が整っている。	B				
	33	地域、保護者とともにいじめの根絶に向けた対策をとっている。	B				
連 携	34	学校は家庭や地域に「桂陽だより」、HPなどで十分な情報提供を行っている。	B		○学校の教育活動を積極的に家庭・地域へ情報発信し理解を図るため、「桂陽だより」や「PTAだより」、「学校ホームページ」等の内容の工夫・改善に努める。	B	B
	35	家庭や地域の要望や意見を収集し、教育活動に生かしている。	B				
施設設備	36	施設設備の維持管理が適切に行われている。	B		○施設設備を整備するとともに有効に活用できるように工夫・改善する。	B	B
	37	設備や教材等の物品の整備と補充が適切に行われている。	B				
危機管理	38	個人情報の保護について十分に留意している。	B		○学校健康安全計画に基づき、計画的な健康安全教育を進める。 ○自然災害やJアラート等、緊急時の連絡体制を整備し、情報共有と連絡手段の確立を図る。 ○服務規律に関する校内研修を計画的に実施し、教育職員としてのモラルや服務保持を徹底し、不祥事防止の取組の充実を図る。	B	B
	39	避難訓練や防災教育は災害や事故に対応するために適切に行われている。	B				
	40	金銭の管理は適切に行われている。	B				
	41	職員の事故防止の取組は充分なされている。	B				